

福井県公安委員会 開催概要

令和3年11月4日開催 「定例公安委員会」

会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) GPS使用ストーカー被疑者の検挙

県警察から、本年8月から新たに規制されることになったGPS機器を使用したストーカー行為の被疑者検挙について報告があった。

委員から、「ストーカー被疑者の行動等を聞いて、非常に恐怖を感じた。どのように対処しているのか。」との発言があり、県警察から、「警察としては、被害者に車載カメラを貸し出すなどして、ストーカー行為者の特定に努めている。」との説明があった。

委員から、「ストーカー被害は潜在化しやすく、被害実態を掴みにくいことから、警察の介入時期が大変難しいと思う。そのためにも警察相談窓口の広報啓発活動を行っていただきたい。」との発言があった。

委員から、「今回の事案検挙が全国初ということで素晴らしい成果を出していただいた。GPSを悪用したストーカー事件は、今後も増えることが予想される中、簡単に機器が買えるような環境に対する議論もこれからは起きるのではないかと思う。」との発言があり、県警察から、「今後このような事例が積み重なると、規制をという声が出てくるかもしれないが、それにより生じる国民への不利益とのバランスも含めた国民的議論が必要だと思う。」との発言があった。

(2) 若手警察官を対象とした鑑識競技会等の開催

県警察から、次の世代を担う若手警察官の鑑識技術の向上と、優秀な人材発掘を目的に開催した似顔絵競技会及び現場鑑識競技会について報告があった。

委員から、「似顔絵を描くことには得手不得手があると思うが、全員がその職に就くことになるのか。」との発言があり、県警察から、「希望者のうち、適性を有する者が似顔絵捜査官になる。」との説明があり、委員から「競技会を通じて自分自身の未熟な部分や改善点等を発見できてよい。」との発言があった。

委員から、「確実な証拠を見つけ出して真実を明らかにするという鑑識の仕事には、高度な知識と確かな技術が必要になると思うので、競技会の開催により研鑽されてい



くことは良いことだと思う。」との発言があった。

委員から、「鑑識は事件・事故現場から情報をいかに最大限引き出せるかという非常に大切な業務だと思う。競技会等により次世代を担う優秀な鑑識員の育成に取り組んでいただきたい。」との発言があった。

(3) 令和3年度福井県原子力総合防災訓練の実施結果

県警察から、本年10月29日、30日に実施された令和3年度福井県原子力総合防災訓練の結果について報告があった。

委員から、「福井県に住む者として、原発事故は身近な問題である。万一の時に県民を守るよう、しっかりとした対策と訓練をお願いしたい。」との発言があった。

委員から、「災害時に動揺する県民にとって、警察官の姿は非常に安心する。日頃からしっかりと訓練をされていると聞き、大変心強く感じた。訓練の状況等を広報することで、県民は更に安心するのではないかと思う。」との発言があった。

委員から、「県民の安全安心に資するような警察業務の遂行の中で、警察官自身の被ばく問題も重要視しなければならない。装備等も含め、徹底した対策をお願いしたい。」との発言があった。

2 運転免許の処分関係

本日（11月4日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取4件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。